

## 平成30年度 当初予算要求事業内容説明書

2款 1項 11目

第5章 住環境が整備された住みやすいまちづくり

基本施策3 交通環境の整備

【会計】一般会計

施策3 地域にあった交通手段を確保します

2款:総務費 1項:総務管理費 11目:交通安全対策費

事業	31	<b>地域公共交通対策事業</b>
担当所属	都市計画課	

### 【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
84,185千円	73,745千円				10,440千円

### 【事業の概要】

事業の概要	交通空白地域対策として実施しているコミュニティバス運行を継続します。 内郷地区の循環バスは契約を更新して運行を継続します。 待合環境整備として鉄道駅のバス停にベンチを設置します。
事業の目的	コミュニティバス等の運行により、交通空白地域を解消します。
事業の効果	地域の移動手段が確保されます。

### 【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
11 需用費		
印刷製本費	212千円	コミュニティバス4路線(各5,000部)の時刻表印刷代
修繕料	100千円	バス停の修繕のための経費
13 委託料		
循環バス運行業務委託料	10,579千円	平成30年11月までの運行経費
コミュニティバス運行業務委託料	69,453千円	4路線(平成30年12月以降の循環バスを含む)の運行経費
14 使用料及び賃借料		
構内使用料	260千円	コミュニティバス運行に係る京成志津駅構内使用料
15 工事請負費		
施設新設工事	821千円	鉄道駅バス停のベンチ設置(4ヶ所)に係る工事費
18 備品購入費		
庁用器具費	2,760千円	バス停の購入に要する経費
計	84,185千円	

### 【活動指標・成果指標】

指標名	平成30年度計画値
コミュニティバス利用者数	82,800人
コミュニティバス運行路線数	4路線

交通不便地域の移動手段の確保

7地区